

当院では鼻から診る 胃の内視鏡検査が行えます

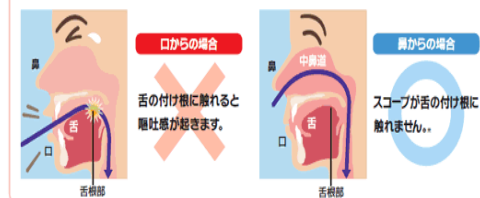
～鼻から検査をした人の95%が「次回も鼻から」を希望しています～

胃の内視鏡検査は、口からだけでなく鼻からも行えるのをご存知ですか？
当院では、より苦痛の少ない内視鏡を多くの患者様に受けて頂くために
「**経鼻内視鏡検査**」という医療機器を新規導入いたしました。

経鼻内視鏡検査のメリットとは？

苦痛が少ない

内視鏡は、鼻にスムーズに挿入できる
約6mmの細さです。
舌の付け根に内視鏡が触れないので、
嘔吐感(オエッ)が少なく楽です。



検査中に会話ができる

検査中に医師の説明を受けながら、
不明な点や疑問点をその場で確認することが
でき安心です。

先生とコミュニケーションをとりながら検査が
出来るのですごく安心です。



すぐに日常生活に戻れる

検査中の苦痛が少ないため、強い麻酔も
必要ありません。
気分が悪くなければ、車の運転・仕事・
家事などがすぐに可能です。
また、30～60分後には飲食が可能です。

短時間で日常生活に復帰できて、
食事也比较的早くとれます。
意識下鎮静法(セデーション)の
内視鏡検査に比べて
すぐに病院から帰れます。



<検査を体験された声>

「以前、口から胃カメラしたときは辛かったが、鼻からは嘔吐感や痛みがなく楽だった。先生と話が出来、モニターで自分の胃の中を見ることが出来、安心感が強い。今度するなら口からではなく、鼻からが良い。」

(60歳・男性)

この検診なら、午前中に受ければ午後からは仕事もできますね。仕事や子育てで忙しい女性にも最適だなと感じました。口は自由なので、検査中に気になることがあれば質問できるし、先生と画像を見ながらコミュニケーションできることは、大きな安心感につながります。

(40代・女性)